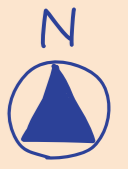


60周年記念事業

みんなでつくる 日野の宝マップ ～七生中地区～

日野に住むみんなから教えてもらった「日野の宝」。
あなたはどのくらい知っていましたか？
自分の住む地区を改めて見渡すと、他にはない面白いものが転がっているかもしれません。

1～10 については参加メンバーが記事で紹介しています。
裏面を見てチェックしよう！



駒形公園 ●



【わんパークひの】

無料で使えるわんちゃんの飼い主さん必見の市営のドッグラン。有志のボランティアひのわんパークの会の皆さんが、たのしく安全に過ごせるよう、見守ってくれています。

● 潤徳小

【向川原堤緑道】

浅川沿いに桜並木が続く道。春には満開の桜と富士山と一緒に楽しめるスポット。ベンチもあってお散歩にぴったり。

富士山VIEWスポット

● 豊田小



【一番橋】

日野市で一番古い橋。ここから望む富士山は絶景！

● 5

● 七生中

● 1

● 南平小

● 7

● 3

● 8

● 4

● 6

● 南平丘陵公園

● 南平高校

● 平山中

● 高幡不動尊

高幡不動駅



【この街八坂サロン】

南平地区センターでひの筋体操を中心にコーラスやゲームを楽しむ高齢者サロンです。交流や仲間づくりの場に！



【南平ふれあいサロン】

民家を開放したようなサロン。男性も入りやすく、家庭的で親しみやすい雰囲気がウリとのこと。

動画チームの作品はこちら

【地区トピックス】

七生中地区には、大小さまざまな公園があります。映画やテレビのロケ地になっているものや、変わった名前に昔からのいわれがあるものなど、散歩ついでにお近くの公園にも興味を持って調べてみては、いかがでしょう？

- 金剛地旧跡公園
- 今熊公園
- 御山の松公園
- ほほえみ公園
- 南平大坂公園
- 南平公園
- 鼻どり田公園
- おくまん下公園
- 川原田公園
- 前田公園
- 根田公園
- 砂層公園
- 七曲り公園
- 貉谷戸公園
- まねご上公園
- 木伐沢西公園

1 ななお BON まつり



日野市のアクションプランの一環として、2016年に「第1回 ななおBONまつり」を催しました。地域の防災力・防犯力には、地域の人たちが繋がるのが大切！それには楽しい行事をするのが一番ということで、昔あった盆踊りの復活を目指しました。

コロナ感染での自粛による中断はありましたが、お陰様で2023年は6回目を行うことができました。実行委員(スタッフ)や、屋台を出店して下さる方も増え、七生中地区の方々も楽しみの一つとして、認めていただいている気がします。毎年9月(初回は10月でした)の恒例行事として、地域の方々の顔が見える場として、今後も継続していきたいと思っています。

(ななお BONまつり実行委員会)

2 ポケット広場



南平駅北側に木の床に季節の花に囲まれた癒しの「ポケット広場」があります。ベンチもあり、散歩途中の休憩に一休みしている方や、かわいい小屋型の本箱から絵本を取り出して読んでいる親子のほほえましい姿も見かけることもあります。ここ「ポケット広場」を管理しているのは、「南平・緑と水のネットワーク」の皆様です。2012年12月8日から活動を始められ、月1回(月の最後の日曜日)南平駅周辺から「みなみだいら児童館ふらねっと」へと流れる用水の水辺の緑化整備をされています。2012年には、「第23回 緑の環境デザイン賞」において、「国土交通大臣賞」を受賞されています。買い物や駅ご利用の折に、南平駅周辺の水と草花の癒しスポットに是非、お立ち寄りください。

(すず)

3 みなみだいら児童館ふらねっと



南平駅から徒歩3分。水と緑にあふれた「みなみだいら児童館ふらねっと」は、0歳から18歳までがいつでもふらっと立ち寄れる地域の子育て・子育てステーションです。児童館には地区センターが併設され、1階は体育室や授乳スペース、2階には乳幼児専用のふれあいルーム・図書室・工作室・バンドの練習ができる音楽室などがあり、乳幼児を連れたパパやママ、来館した子どもたちがほっとできる場所になっています。予約制のプログラムや季節の行事などあり、どなたでもご利用いただけます。幼児クラスから来ていた子どもが、小、中、高校生になり行事の実行委員をやったり、大学生がリーダーとして年下の子どもたちの活動を支えている姿を見ると、地域という大家族の中心になる所だとも言えます。児童館はいつでも誰でも安心して遊べる場所です。一度いらしてみてください。※おむつ用の無料ゴミ袋も配布しています。(M. M)

4 熊野神社



静かな住宅地の中、小高い丘に田中地区の鎮守として熊野神社はあります。創建の年代は不詳ですが、現在の社殿は台風の被害に遭い昭和48年に遷座したものです。御祭神は、伊邪那岐命(いざなぎのみこと)、伊邪那美命(いざなみのみこと)です。毎年9月には、祭礼が行われ、神輿・子ども神輿の巡行も行われています。いつもは静かな神社も、屋台も出てにぎやかな2日間となります。(すず)

5 七生中学校自噴井



日野市政施行50周年記念事業の「水辺のある風景50選 no.36」にも選ばれた七生中学校自噴井は、1964年にプール用に掘られ、旧3000m³の地下水が自噴しています。2002年には、ピオトープが整備され、井戸水が放流されている浅川の河川敷と共に、多くの生き物が生息しており、子どもたちの環境教育の場となっています。また、七生中生による「水辺の案内オブジェ」もグラウンド角(ホームベース裏)の歩道側にありますので、七生中学校近くにいられる際には、ご覧になってください。*七生中学校自噴井の見学については、学校内ですので七生中学校にお問い合わせください。(すず)

6 南平丘陵公園



日野市で一番広い南平丘陵公園は、多摩丘陵の地形と樹林をそのまま利用した自然豊かな公園です。9時~16時までが利用可能で、駐車スペースが数台分用意されています。道順は北野街道の「南平高校入口」の交差点を都立南平高校へ向かうと左側です。駐車場から階段を上すると管理棟がありトイレも利用出来ます。管理棟前の広場にはベンチがありお弁当をたべるには最適なところ。南平丘陵公園はアップダウンが多く、雑木林の中を探索できます。階段も多くあり、汗をかきながらの探索楽しいですよ。階段を上り終えると小さな展望台があり、日野市が一望できます。展望台を過ぎ、奥に行くと狭い階段がありひょうたん池につながり、横には東屋があります。また、頂上まで登りると、多摩動物公園の仕切柵があり、かたらいの路(ハイキングコース)になっています。

(おが)

7 南平体育館



令和4年4月にリニューアル(たばかり)。明るくて広々とした館内は、落ち着いた雰囲気でもっともオシャレ。ヨガや体操などの教室や、トレーニングルームなど、気軽にスポーツを楽しむことができます。日頃の運動不足解消にぴったり！子どもが遊べるキッズスペース、ボルダリングやアスレチックルームもあるので、お子さん連れでも楽しめます。自由に使えるラウンジでは、夜勉強する学生の姿も。館内にはパラリンピックの車いすバドミントンメダリストである、山崎選手のサインも展示されています。ななおBONまつりの会場になるなど、地域のシンボリックな建物です。

※アスレチックルーム
実施日時:火曜日 9時~15時
水曜日12時~17時
(みなみん)

8 南平地区社会福祉協議会



南平地区社会福祉協議会(以下「ふらっと南平」という)は、3年余りの準備期間を経て平成28年3月に、日野市で初めての地区社協として誕生しました。このコロナ禍で、対面での活動が制限されるという困難な時期を乗り越えて、令和5年で8期目を迎えました。よく「ふらっと南平は、どうやって誕生し、なぜここまで続いているの」と聞かれます。それは、この街を少しでも住みよい街にしようという熱い思いをもったお節介な者たちが、野澤一弘という強いリーダーシップをもった会長のもと、この街を住みよい街にするためにみんなで一生懸命に活動しているからだと思えます。ふらっと南平の思いは、「ここ南平に思いやりのある、暖かい風を吹かす」事です。少しでもここに住まう皆さんが、「暖かい風」を感じてもらえたら幸いです。また、我々と一緒に活動をする方を募集しておりますので、無理なく一緒に活動をして下さる方は、事務局までご連絡ください。なお、活動の内容は、ホームページ又はLINEをご覧ください。

(いさお)

9 八坂神社



平村の鎮守である八坂神社は、古文書に依ると永禄年間(1558~1570・戦国時代)に創建開山したとの記録があり、古くからこの地を守ってくださっています。

素盞鳴命 武の神様
稲田姫命 農耕の神様
牛頭天王 病気除の神様

が、祀られています。鳥居には、昭和20年の空襲で近くに爆弾が投下され、その破片があたり破損した傷跡がのこっています。戦国時代から、現在に至るまで、氏子の皆様の信仰厚く、現在の社殿は、260年目の記念事業として奉参金をもってまかない、昭和五十八年より新築計画を始め三年目で完成しました。境内の板碑によると、この新築計画は氏子一同、祖先の志を継ぎ、子孫繁栄を祈願するものであると残されています。

(コタロー)

たくさんの小さな公園



七生中地区には小さな公園がたくさんあります。大きな公園はそんなないけれども、まちを歩いていると、ちょうどよいタイミングでひとやすみ出来る公園に出会えます。以前この小さな公園のひとつで子どもたちが待ち合わせをして遊んでいる姿を見たときは、きっと子ども同士でしか通じない呼び名がそれぞれの公園にあるんだろうな、自分も昔はそうだったな、などとふるさとを思い出しました。こんな小さな遊び場でも無くならずずっと残り続けてほしいなあと思います。(正彦)